

楽器寄附ふるさと納税とは？

新しいふるさと納税スタイル

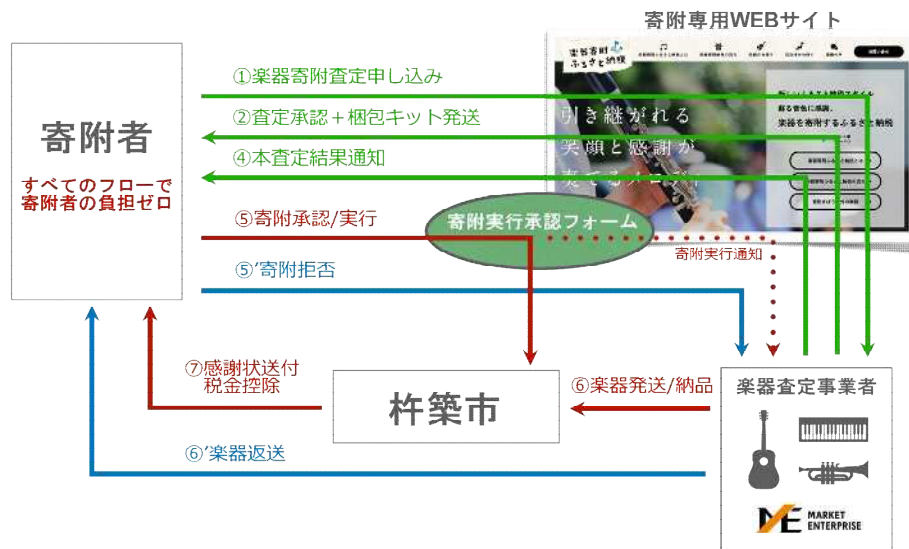
全国に眠る使われなくなった不用楽器を、
学校及び音楽団体等へ自治体を通じて寄附いただき、
その寄附楽器の査定価格が税金控除される
「ふるさと納税制度」を活用した新しい納税スタイルです。

ふるさと納税制度の改善

寄附いただいた楽器が、子どもたちの感謝の気持ちを創造し、
笑顔あふれるまちづくりの活性化を図るため、
三重県いなべ市がスタートさせた ※2018年10月10日ローンチ
「ふるさと納税制度」本来の目的も捉えた取り組みです。

2020年6月25日(木)杵築市募集開始

楽器寄附申し込み～楽器査定～納品～税金控除



寄附希望楽器の種類

- ・フルート
- ・B♭クラリネット
- ・アルトサクソ
- ・バリトンサクソ
- ・フルダフルホルン
- ・テナーバストロンボーン
- ・ユーフォニアム
- ・シンバル
- ・B♭バスクラリネット
- ・テナーサクソ
- ・Fシングルホルン
- ・テナートロンボーン
- ・バストロンボーン
- ・チューバ



【連絡先】
〒873-0001 大分県杵築市大字杵築377番地1
杵築市商工観光課ブランド・ふるさと納税係
TEL:0978-62-1808
FAX:0978-63-3833

吹奏楽部に楽器の寄付を



メツキがはがれ古くなったユーフォニアムを持ち、寄付を呼び掛ける杵築中吹奏楽部員(杵築市)

杵築市 ふるさと納税活用

【杵築】杵築市は25日、ふるさと納税の制度を利用し、家庭などに眠る楽器を市内の全市学校(3校)と杵築高の吹奏楽部に寄付す

の若い世代を応援してほしい」と呼び掛けている。各校の吹奏楽部は寄付してほしい楽器を、仲介業者の「楽器寄付ふるさと納税実行委員会」(東京都)のホームページ(H.P.)に掲載。寄付者も同じH.P.に掲載し込む。楽器を受け取った吹奏楽部はお礼の手紙を送る。返礼品をもらえない仕組みのため、杵築市民も寄付ができる。

市によると、吹奏楽部の使う楽器は50万円以上するものも多い。各部とも更新費用が賄えず、古い楽器を修理しながら使っている。杵築中吹奏楽部はサクソフスなど金管楽器を中心に寄付を希望する。古いユーフォニアムを演奏する2年の岩田和海さん(13)は「楽器の一部から、つばが漏れて困っている。新しいのがくれば、もっと力いっぱい演奏できる」と望む。

永松樞市長は「寄付された楽器を使うことで子どもたちの練習のモチベーションも上がるはず」と話している。(佐藤由佳)

別府新聞
別府総局 TEL(0977) 22-2121

杵築新聞
杵築支局 TEL(0978) 62-2653

日出新聞
日出支局 TEL(0977) 72-2712

令和2年6月26日(金) 大分合同新聞掲載



全楽器が揃った吹奏楽部には、楽器を全面に求めた杵築中吹奏楽部のメンバー(杵築市)

眠った楽器 杵築で再び音色を

市内の中高吹奏楽部へ寄付募る

使わなくなり家庭などで眠る「休眠楽器」がふるさと納税で寄付され、楽器不足に悩む中高校の吹奏楽部に自治体を通じて届けられている。昨年に三重県いなべ市で始まり、全国10の自治体が取り組む「楽器寄付ふるさと納税」制度。25日には、杵築市が市内四つの中高校吹奏楽部への寄付を募る。県内では初の事業受け付けを始めた。管楽器を中心に「澄んだ音色を出してみたい。コロナ禍で縮みがちな生徒の夢は広がろうとしている。」

「ふるさと納税」制度活用

おり、「ふるさと納税制度」を活用しためぐもりのある新しい納税スタイルとして注目されているという。

参加するのは杵築、宗近、山香各中学と杵築高校の吹奏楽部。各校とも「あったらいいな」と思ふ楽器を六つずつ選び「楽器寄付ふるさと納税実行委員会」のホームページ(H.P.)に掲載した。

杵築中吹奏楽部は部員、ネジが緩み、ボディーが腐食の税金が控除される。通常返礼品はないが寄付を受けた楽器を使った音楽会への招待なども検討している。低音が響く高価な楽器を使いたがるメンバーは少ない。コロナ禍で集団練習が来ずに、今年は大好きな先輩の卒業式、新一年生入学式でも演奏ができなかった。部長の3年吉田奈々さん(16)は「重厚感のある大きな管楽器に人気が集まるが、休眠から覚めた新しい楽器をそろえ、心も思いも一つにして県のコンクールで金賞を取りたい」とほほ笑む。30年以上使っているトロンボーンは金属感がひどく、音程もずれりする。部顧問の平松舞論(25)は「地域の小さな学校には本当にありがたい企画です」とにこり。

杵築市の永松樞市長は「手に入れた楽器が全国から善意で届くと、生徒たちの感謝の思いが美しい音色となる。きっと杵築の思い出として響くでしょう」と話した。「楽器寄付ふるさと納税」のホームページは<https://www.aki-ktp.jp/> (加藤勝利)

令和2年6月27日(土)朝日新聞掲載

その想いを楽器でつなぐ。

楽器を寄附する
ふるさと納税



眠っている楽器
もう一度、
蘇らせませんか？



楽器寄附

検索

<https://gakki-kifu.jp/>



<https://www.facebook.com/gakki.kifu/>

https://twitter.com/gakki_kifu/

楽器寄附ふるさと納税とは？

楽器寄附ふるさと納税とは、全国に眠る使われなくなった楽器を、学校及び音楽団体等へ自治体を通じて寄附いただき、その寄附楽器の査定価格が税金控除される「ふるさと納税制度」を活用した新しい納税スタイルです。

寄附いただいた楽器が、子どもたちの感謝の気持ちを創造し、笑顔あふれるまちづくりの活性化を図るため、三重県いなべ市がスタートさせた「ふるさと納税制度」本来の目的も捉えた取り組みです。



【写真】寄附者を招いた演奏会を随時開催

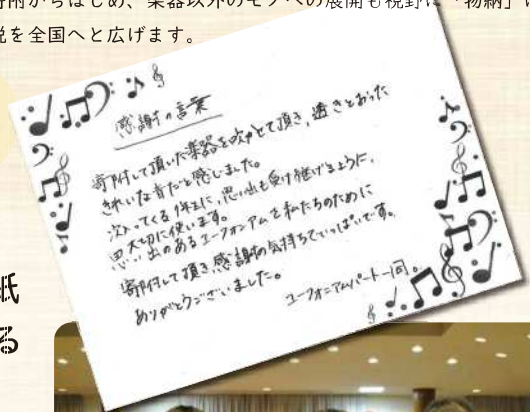


三重県いなべ市
市長 日沖 靖

慢性的な楽器不足という現実 導き出した答えは「寄附」でした

「ふるさと納税制度を健全に発展させたい」、「生まれ育ったまちや応援したいまちに寄附をするという本来の趣旨に沿った仕組みを構築したい」という想いと、市立中学校吹奏楽部の慢性的な楽器不足という現実。導き出した答えは、寄附でした。

大切にしてきたモノに思いを込める“寄附文化”の醸成と、感謝の気持や楽器を大切にする“心の教育”。そして、新たに生まれる“つながり”。いなべ市では、楽器寄附からはじめ、楽器以外のモノへの展開も視野に「物納」によるふるさと納税を全国へと広げます。



想いのこもった「ありがとう」の手紙 寄附者と子どもたちの交流が生まれる

寄附者の中には、学生当時、同じ楽器不足で悩んでいた頃に共感し、思い出と一緒に大切に保管していた楽器を寄附いただいている方もございます。

そんな寄附者の想いがこもった楽器を寄附いただいた生徒たちは、本当の感謝の気持ちを伝えるため、寄附者ひとりひとりに感謝の手紙を送っています。

また、寄附楽器を使用した音楽会やコンサートに寄附者を招待するなど、直接感謝を伝える場を設け、寄附者と生徒たちの交流が生まれています。



楽器寄附ふるさと納税実行委員会 運営事務局（株式会社バシュート内）

〒113-0033
東京都文京区本郷 1-4-5 陽光ビル 8F
TEL: 03-5840-7497 (直通)
FAX: 03-5840-8249
<https://www.pursuit-inc.jp/>



<https://www.facebook.com/gakki.kifu/>



https://twitter.com/gakki_kifu/

楽器寄附

検索

<https://gakki-kifu.jp/>

